

事例
研究高齢者の活躍が
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働人口の減少は、人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。

『誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現』を目指す！
社会福祉法人 光の森学園

シニアの方の包容力と
気づきのチカラが必要！

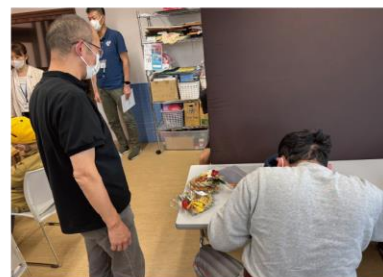
光の森学園は、「障がい者総合支援法」にもとづく施設を運営する社会福祉法人である。母体となる施設は中央区の盤渓にあるが、今日は西区西野にある生活介護事業所（通所施設）「千種の邑」ちくさのむらにお邪魔し、リクルート部係長の森さんに話を伺った。まず、「千種の邑」がどのような施設なのか聞いてみた。常時支援を要する障がい者の方が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、相談及び助言、創作活動、生産活動等の機会を提供しその他の便宜を適切かつ効果的に行うことを目的とする施設で、わかりやすく言うと“大人の学校”のようなものだと言わせていただいた。この「千種の邑」では60名の障がい者を受け入れ、55名の職員が勤務している。そのうち、5名が60歳以上のシニア職員なのだそう。「豊富な知識と経験・多様な視点・コミュニケーション能力の高さなど、施設運営に欠かせないスキルをお持ちのシニア職員にご活躍いただくことが必要。上手く自己表現が出来ない利用者も多いので、包容力と気づき

のチカラも重要なのです。」と森さんは言う。

利用者とのコミュニケーションが
気持ちをワクワクさせる！

放送局で番組制作や営業の仕事をされ、今年の4月に同施設に入職したという吉見生吹さん（62歳）にインタビューさせていただいた。吉見さんは、求職活動をしながらハローワークのお仕事説明会に参加した後、公共職業訓練に通い、その中で施設の実習を体験した。もともと人に興味があったせいか、色々なタイプの人と出会うことが楽しいと感じるようになった。そんな頃、光の森学園の見学会に参加する機会があり、もう少し知りたい！と思ったのが入職のきっかけ。と話してくれた。吉見さんの現在の勤務体系をよく聞いてみると、この「千種の邑」での勤務のほかに同法人が営んでいるグループホームの夜勤の業務もされているのだそう。吉見さんをはじめ施設のスタッフは交代で昼夜を問わず支援しているのだ。

この仕事のやりがいについて伺うと、「利用者たちの思いもしない行動パターンが面白い。思わぬ才能を発見する場



写真左)【施設外観】「生活介護事業所 千種の邑」
写真中)【利用者が書いたウェルカムボード】「気持ちが伝わります！」
写真右)【お仕事中の吉見さん】「うまくできたかな？」

法人概要 【法人名】社会福祉法人 光の森学園
【代表者】理事長 村木 靖雄
【所在地】札幌市中央区盤渓259番地

【開 園】1992年9月
【従 業 員】380名
【事業内容】施設入所支援事業・生活介護事業・共同生活援助事業など

面もある。利用者の言いたいことや考えていることをくみ取り、どのように支援したらよいか考えることも楽しく、やりがいがある。利用者とのコミュニケーションが気持ちをワクワクさせる。この仕事をする上で心がけていることは、観察と傾聴。同僚に対しても、利用者に対してもそこは意識している。」と話してくれた。

休日の過ごし方について何うと、「少なくとも70歳までは働きたいので、“介護福祉士”の資格取得を目指して勉強している。勉強以外はドライブがてら温泉かな(笑)」

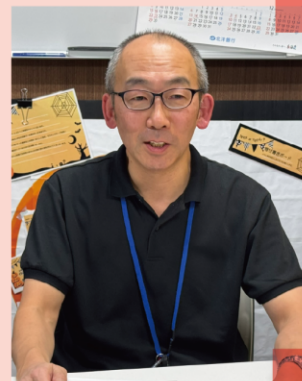
「仕事というのは簡単で楽なものはない。シニアという年代であっても、目標をもって、中長期的な展望を!!」と、これから仕事をしたいと思っているシニアの方に対してメッセージをいただいた。

光の森学園(千種の邑)での取材を通して、障がい者支援の仕事は、利用者とのコミュニケーションを通して職員が幸せを感じることが出来る素敵な仕事だと感じた。「前職と全然違って経験は活かせる。」と吉見さんが語るとおり、人生経験豊富なシニアの方こそ、この仕事にピッタリなのかもしれない。取材の際、施設見学をさせてもらったが、利

用者の方が笑顔で手を振り挨拶してくれた。シニアの方も活躍できる職場環境の良さが、利用者の笑顔にも繋がるのだろう。



職場の先輩
係長 平井さん
「職員の方はみなさん笑顔」



吉見 生吹さん(62歳)
「前職と全然違って経験は活かせる」

社労士からひとこと!



社会保険労務士・
キャリアコンサルタント
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

「シニアの知識・経験・気づきと包容力を思う存分発揮!」

2025年には国民の3人に1人が65歳以上になると予測されています。少子高齢化の中、シニアの方の頑張りは、日本経済の発展にもつながります。

シニアの方が活躍している職場は、若手の定着率が高いという傾向もあります。シニアの方が「生きがい」を感じながら働いている姿は、同年代だけではなく、若手にとってもロールモデ

ルとなるのです。シニアの活躍が組織をも明るくする、そんな働き方はとても素敵ですよ。

今後も介護の現場ではシニアの方の活躍が期待されます。今まで培ってきた知識・経験・気づきと包容力を思う存分発揮して、頑張ってください。

シニアの方の就職および求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら
就サポ 札幌市就業
サポートセンター

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <https://saposen.co.jp>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



就サポHP



札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。

《求職者向け》シニアの方の雇用の求職のお問い合わせ

011-708-8321

《企業向け》シニアの方の雇用の求人募集のお問い合わせ

011-708-7865

主催：札幌市 実施・運営：株式会社 東京リーガルマインド

さっぽろ市
02-H01-24-2305
R6-2-1517